

2019年(令和元年)8月8日(木曜日)

三島の魚見にいっしょ

NPOが「水族館」

三島市内の川や水辺の環境保全などに取り組むNPO法人「グラウンドワーク三島」(同市芝本町)が六



日、市内に生息する約二十種類の魚を無料で見られる「わくわく三島水族館」を事務所内に開設した。

子どもたちに魚を好きになってもらい、環境保全の意識を高めるのが狙い。源兵衛川に咲く貴重な花「ミシマバイカモ」が入った四つの水槽を設け、環境省の絶滅危惧種に指定されているホトケドジョウや、吸盤に似た腹びれが特徴的なハゼ科のトウヨシノボリなど

展示された魚を観察する親子連れ。三島市芝本町のグラウンドワーク三島で

を展示する。魚の種類は今後も増やしていく予定。

事務所では動植物の図鑑や、市内の自然環境を紹介するガイドブックなども読める。グラウンドワーク三島の渡辺豊博専務理事は「専門家による説明会も定期的に関き、生きものの学習の拠点にしたい」と構想を語った。(杉原雄介)